

報告事項サ

「平成28年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム」について

「平成28年度地域とともにある学校づくり推進フォーラム」の実施について、別紙のとおり報告します。

平成28年8月10日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成28年度「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」について

- 1 日時 平成28年7月15日(金) 午前10時から午後4時30分まで
- 2 会場 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)ホール (鳥取市扇町21番地)
- 3 主催 文部科学省、鳥取県教育委員会
- 4 目的 学校が地域と一体となって子どもたちを育むためのコミュニティ・スクールをはじめとする学校と地域との連携・協働の取組推進に向けて、各地域における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資することを目的とする。
- 5 内容
 - ・主催者挨拶
鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志
 - ・文部科学省による行政説明
 - ・講演
政策研究大学院大学客員教授 貝ノ瀬 滋 氏
地域に開かれた学校から、地域とともにある学校へ
～「社会に開かれた教育課程」とコミュニティ・スクール～
 - ・実践発表
「コミュニティ・スクールの具体的な導入の在り方・充実に向けた方策」
 - ①鳥取県南部町教育委員会
 - ②鳥取県倉吉市教育委員会
 - ③山口県光市教育委員会
 - ・パネルディスカッション
「地域とともにある学校づくりの推進に向けて」
 - ◇パネリスト
 - ・鳥取県南部町立法勝寺中学校長 田丸 睦悌 氏
 - ・鳥取県倉吉市教育委員会教育長 福井 伸一郎 氏
 - ・山口県光市教育委員会山口CSコンダクター 木本 育夫 氏
 - ◇コーディネーター
 - ・大分大学 COC+推進コーディネーター 梶原 敏明 氏
(文部科学省 CS マイスター)
- 6 参加者 教職員、保護者、地域住民、学校・教育委員会関係者等
県内 約224名、県外 約104名 (約328名)

7 参加者の感想（一部抜粋）

《市町村教育委員会関係者》

- ・地域づくり・人づくりの観点から、学校・家庭・地域それぞれの責任と役割が明確になった。
- ・コミュニティ・スクール導入時のポイントや、導入から推進の流れが具体的でよく分かった。
- ・コミュニティ・スクールの必要性について理解することができ、大変有意義なフォーラムだった。

《学校関係者》

- ・コミュニティ・スクール導入の意義について大変共感できた。
- ・学校が地域に発信することで地域も変わる。地域から学校に人が入ると学校も変わる。相互に変わっていきけるシステムだと感じた。
- ・運営によって、教職員にゆとりができ、やる気を生んでいく体制づくりが重要だと感じた。
- ・地域創生、地域の担い手づくりという意味合いがコミュニティ・スクールに大きく期待されていると感じた。
- ・地域の現状に合わせ、学校と地域が協働していくための内容や方法について模索していきたい。

《地域住民等》

- ・コミュニティ・スクールは、地域と学校どちらにとってもよいものであるという考えを確かめることができた。
- ・学校と地域の協働が大切と分かった。
- ・自分の地域でも、このような取組が推進された場合、積極的にかかわりたい。
- ・学校運営協議会の委員として、自分がどれだけ地域を巻き込む責任を果たしているかを確認する機会となった。
- ・これからの宝(子ども)を地域ぐるみで育てていくという考え方が分かった。学校と保護者、地域で協力してみんなで子育てをしていきたい。